

新聖歌395番

主はガリラヤ湖の

1

主はガリラヤ湖の 漁師に告げぬ

「網を捨て置きて われに従え」

また主は疲れし 世人に告げぬ

「罪を振り捨てて われに従え」



新聖歌395番

主はガリラヤ湖の

2

(みやま)

(たにま)

険しい深山の 谷間に呼べる

羊飼いの声 友よ聞かずや

「わが羊よなぜ かくさ迷える

汝が守り手なる われに従え」



新聖歌395番

主はガリラヤ湖の

3

「罪の世にありて 罪に<sup>(けが)</sup>汚れず

憂いを慰め 疲れを癒し

汝が側にありて 常に勝たしむ

いのちの道なる われに従え」



新聖歌395番

主はガリラヤ湖の

4

「わが跡を踏みて 右や左に  
迷い行くなかれ 道狭くとも  
十字架を担い 天を望みて  
常世の朝まで われに従え」

